

葛塚市と歩んできたまち

■河川交通の要所－葛塚－

葛塚は、新井郷川による物流の集積地で、約260年前に葛塚市が開かれて以来、地域経済の中心として発展しました。

下の写真は江戸時代に描かれた「下興野新田絵図」(市指定文化財)です。町並みができ始めたばかりの様子が描かれています。

現在の葛塚地区は、この江戸時代の絵図に描かれた道や神社を残しながら、新しい住宅・道路がつくられています。

葛塚市とともに歩んできた葛塚地区を紹介します。

■葛塚市が開かれるまで

水原や新発田の市場まで買い物に行かなければならなかったころは、市場を開くことが、葛塚の人々にとっての悲願でした。1761(宝暦11)年旧暦10月8日に、5年越しの願いがようやく叶い、水原代官所を通じて幕府の許可が下り、葛塚市が開設されることになりました。葛塚市は、

1957(昭和32)年まで本町通りで開かれていましたが、今は常盤町に移り、100店近い露店が出店しています。

■葛塚市をきっかけに

市場が開かれた日を記念して始まった石動神社と稲荷神社のお祭りは、現在「葛塚まつり」へと受けつがれています。開市を許可された日を忘れないために、月は変わりましたが、現在も毎年9月8日にまつりが行われて

います。

まつりで稲荷神社に奉納される「他門の神楽」は、水原代官所で葛塚市を開くことを許可されて帰ってきたとき、人々が喜び、サン俵(サンバイシ)を頭にのせて神楽を舞ったのが始まりと伝えられています。

また、稲荷神社境内にある開市神社は、市場開設に力を尽くした庄屋 遠藤七郎左衛門宗寿など遠藤家の3人がまつられています。



▲1733(享保18)年の葛塚 下興野新田絵図(市指定文化財)より



葛塚の地名の発祥地
石動神社は、葛塚地区で最も古く300年以上の歴史があります。



中大口には、大工・建具屋・屋根屋・石屋・表具屋・鍛冶屋など、職人が多く住んでいました。そのため、匠通りと呼ばれています。

北区の主な祭り・芸能

※市指定=市指定無形民俗文化財

北区では、さまざまな祭りが開催され、神楽舞などの芸能は地域の人々によって長く守り伝えられています。300年以上続く神楽舞や、数十年間中断した後に復活した神楽舞もあります。

みなさんも地域の祭りに出かけてみませんか！ 日程・場所は変更になることがありますので、事前にお確かめください。

日程	祭り・芸能の名称	場所
4月9日 8月27日	新崎伊佐弥神楽	諏訪神社(新崎)
4月17日 9月第3土曜	内島見の神楽(市指定)	神明宮(内島見) (内島見観音堂)
4月中旬の土曜 8月下旬の土曜	大久保の神楽	神明社(大久保)
4月下旬の土曜 10月第1土曜	太子堂の神楽	上宮社(太子堂)
4月19日 8月15日	長戸呂の神楽	神明宮(長戸呂)
5月9日 10月9日	高森の神楽(市指定)	高森薬師堂 稲荷神社(高森)
8月15日	松浜盆踊り	稲荷神社(松浜本町)
8月第3土曜	長場の神楽(市指定)	神明宮(長場)
8月第3土曜・日曜	早通ふるさと祭り	JR早通駅前など
8月第3土曜	上堀田の神楽	—
8月第4土曜	長戸の神楽	三柱神社(長戸)

日程	祭り・芸能の名称	場所
8月24日、25日	松浜まつり	稲荷神社(松浜本町) 本町商店街(松浜本町)
8月25日	阿賀野川ござれや花火	阿賀野川河川敷(松浜)
8月最終土曜	大瀬柳の神楽	大瀬柳神社
8月30日、31日	内沼の獅子舞(市指定)	内沼神社
8月30日、31日	内沼の神楽	内沼神社
9月5日	豊栄大民謡ながし	JR豊栄駅前通り
9月6日～8日	葛塚まつり	石動神社(白新町) 稲荷神社(葛塚)
9月6日	正尺の神楽(市指定)	石動神社(白新町)
9月7日、8日	他門の神楽(市指定)	稲荷神社(葛塚)
9月第2土曜	御山(尾山)伊佐弥神楽	豊田神社(尾山)
9月中旬の土曜	竹の通りの神楽	神明宮(川西)
9月中旬の土曜	下土地亀の神楽	神明宮(下土地亀)
9月第3土曜	木崎の神楽	三柱神社(木崎)
不定期	嘉山の神楽(市指定)	日吉神社(嘉山)
不定期	松浜太鼓	—